第８回工学部国際交流フォーラム「Ginga Lecture」実施報告

２０１３．０８．５

研究グローバル化特別対策室

工学部研究グローバル化特別対策室では，様々な国の大学との研究交流を活発にし，さらに学生交流を推進することによって，工学部に於ける教育と研究のグローバル化を進める活動を行っております．その中の一つとして，国際交流フォーラムを開催しております．

第８回工学部国際交流フォーラムを，下記の日程で開催いたしましたので報告いたします．

日　時　2013 年 7 月 31 日(水) 14 時 00 分-17 時 10 分

第１部　Mark 氏による講演　　14:00～15:00

第２部　李教授らによる講演　　15:10～16:40

第３部　茶話会　　16:40～17:10

場　所　岩手大学工学部キャンパス内　復興祈念　銀河ホール

〒020-8551　岩手県盛岡市上田 4-3-5

講　師　〈第１部〉Mark Douglas Ainslie 氏

(Dept. Of Eng., Univ. of Cambridge, Research Fellow, UK)

〈第２部〉李書琴　教授（西北農林科技大学　信息工程学院長，中国）

陳軍　教授（西北農林科技大学　機械と電子工程学院副院長，中国）

李占利　教授（西安科技大学　計算機科学技術学院副院長，中国）

概要　〈第１部〉Mark 氏は超電導体バルクのモーターへの応用を目指した基礎研究のため、工学部の藤代教授の研究室に２週間滞在して実験を行っています。Mark 氏の出身であるオーストラリアの話をされ、また英国の紹介と共にケンブリッジ大学について述べられました。最後に、超電導体バルクを用いたモーター応用に関する最新の研究を紹介していただきました。

〈第２部〉西北農林科技大学と西安科技大学の歴史と各学院の紹介がありました。西北農林科技大学信息工程学院については，コンピュータサイエンスとソフトウエア工学を合わせたような特別な訓練を学生に実施したり，農工の連携を重視していることが説明されました。また，機械と電子工程学院についても同様に，その学院では機械，電子，木材工業がひとつの学院を構成しているところが特色であることが述べられました。西安科技大学計算機科学技術学院についても，大学や学院の歴史などが説明され，情報可視化やソフトウエア工学などが特色であることが述べられました。また，　西安科技大学は，現在の場所のほかに兵馬俑博物館近くに，キャンパスが増設されたことが説明されました。



Mark 氏による講演





聴講生たち



Coffee break



フォーラムの様子





フォーラムの様子



会場の様子



Coffee Break



参加者集合写真

